

NBDCヒトデータベースについて

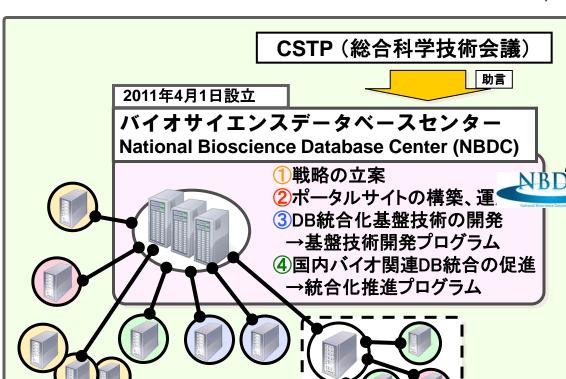
平成25年7月25日

全球 独立行政法人 科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) 箕輪 真理

http://biosciencedbc.jp

● 独立行政法人 科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC) 概要





AgriTOGO

BHAV産生物ゲノム情報統合データベース

All Japanとして
ライフサイエンス
知的基盤の構築
integbio.jp

研究者

- ・ライフサイエンス研究成果共有の実現
- ・効果的・効率的な研究推進の実現
- ・ライフサイエンス研究の活性化

①戦略の立案

国内外の各種バイオサイエンス関連DBと連携

- ・データベース整備、統合化の戦略企画
- ・有効なデータ、必要な技術のコーディネート
- データベース統合化ガイドラインの策定
- ・国内外との連携構築

②ポータルサイトの構築、運用

- ポータルサービスの実施
- ・横断検索サービスの実施
- •アーカイブサービスの実施
- ・統合検索サービスの実施

③基盤技術開発プログラム

データベース統合化の実現に 向けて基盤となる技術開発を 行い、実装までを行うプログラム

④統合化推進プログラム

分野ごとのデータベース統合化 等を通じ、国内バイオ関連DBの 統合を実現するプログラム

NBDCヒトデータベースノデータ共有の仕組み

N B D C

運営委員会

データ共有分科会

見直

班班

NBDCヒトデータ 共有ガイドライン

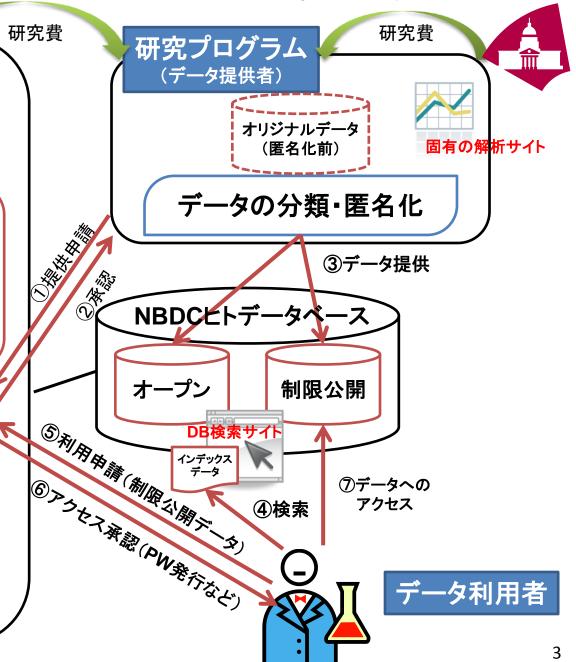
NBDCヒトデータ取扱い セキュリティガイドライン

ヒトデータ審査委員会

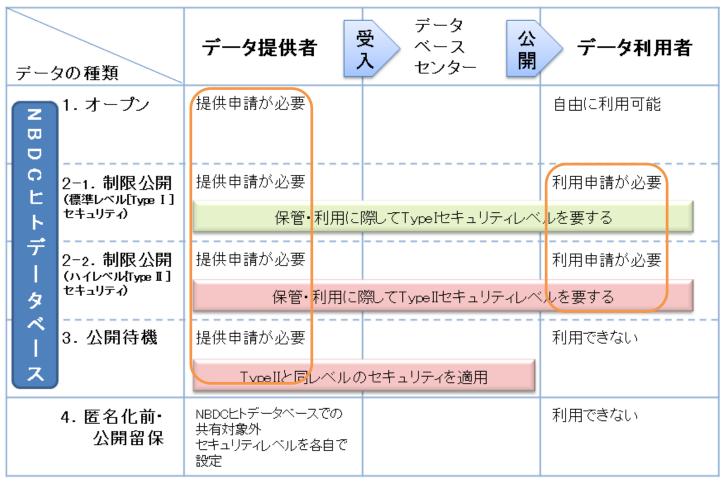
NBDC外部の有識者を含む 審査機関

NBDC/提供者間の協議内容

- データの分類
- ・データの提供日
- データの公開について、他



- ・ヒトに関する多様なデータを受け入れ予定(配列、画像、疫学...)
- ・受け入れるものは(再利用できる)データセットおよび付随情報
- ・公開が予定されるもの限定
- •提供者との協議による公開レベル分け



データ提供申請のポイント

- ・インフォームドコンセントで"データベースへのデータの登録と研究者によるデータの共有"について示されている<u>(ガイドライン中に例文あり)</u>
- ・倫理審査委員会で"データベースへのデータの登録と研究者によるデータの共有"が承認されている(ICの再取得が困難と判断される場合等)
- 提供時に新たに匿名化を実施する
- * IC等で利用に際しての制限がある場合には、利用申請の審査時にその条件を 適用する

データ利用申請のポイント

- -研究経験のあるPIからの利用申請である
- ・データを利用する研究が倫理審査委員会で承認されている
- ・レベルに応じたセキュリティ対策を実施している<u>(チェックリスト)</u>
- 毎年8月には利用状況の報告
- ・成果公開時には提供元(および本DBの利用)をAcknowledge
- 基本的事項(利用者の限定・利用目的の明示・目的外使用の禁止・研究利用限定・個人同定の禁止・再配布の禁止)

・ヒトに関する多様なデータの受け皿として

『NBDCヒトデータベース』を構築中

データ共有およびデータ取扱いセキュリティに関するガイドラインを 4月25日に公開

